

【奈良保険医協会 アンケート 自由意見】

中野あけみ 日本共産党 奈良2区

「誰もが安心して暮らせる世の中に」こんな当たり前の政治の実現へ、いま転換のチャンスです。街には「年金が切り下げられ、医療や介護保険料負担も大変」「消費税増税されたらやっていけない」の声があふれ、40歳代の男性は「大学卒業時は超氷河期で非正規で働かざるを得なかった。その後、職を転々として病気になり、生活保護制度をやむなく受けている」と話し、行く先々で怒りと不安が広がっています。

一方で、民主党幹部が「社会保障はムダの宝庫」と生活保護の医療扶助を敵視する質問を行っています。「過剰診療、過剰投薬をし放題だと疑われても仕方がない」と言いたい放題。憲法25条の生存権にもとづく生活保護の制度を否定する姿勢を示しました。大企業の内部留保の社会への還元、富裕層などへの能力に応じた税負担で、消費税増税に頼らず、社会保障を充実させることができます。

1987年から県会議員として3期12年、県民の要求実現に取り組んできました。今度は国会で働かせてください。